

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		フロッサムジュニア上越大手町教室		公表日		年 月 日		
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動ごとに部屋を分けることや、お子さんの特性や意思を尊重する形で個室を使用するなどの工夫している。</li> <li>・状況に合わせて、個別の部屋を決めており、カラーボックスに個別で使う道具を入れるなどして、お子さんから見て視覚的に分かりやすいようにしている。</li> </ul>			
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の希望に応じるとなると、職員数は足りていない。</li> <li>・マンツーマンでつく職員が決まっているほか、フリーの職員も支援中にすぐに動けるように同部屋にいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員配置の見直しや、職員間の連携を更に行うことで、支援の幅を広げていきたい。</li> </ul>		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なお子さんに分かりやすいよう、視覚提示をしたり自ら情報を得やすいようにスケジュールを見える化している。</li> <li>・スケジュールボードやトイレの表示など、絵カードや写真を使って視覚的に分かりやすいようにしている。</li> <li>・玄関から教室までの階段は職員が必ず付き添う。</li> </ul>				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備に日々取り組んでいる。常により良い環境となるよう、職員一人ひとりが気づきをもつようになっている。</li> <li>・子どもの来所前・退所後に必ず清掃を行なっている。</li> </ul>				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも使用できるように環境を整えていることと、お子さんにも使用できることを説明している。</li> </ul>				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に振り返りを行い、より良い支援へと繋がるよう支援の見直しや目標の再設定をしている。</li> <li>・支援前には、今日の内容や過ごし方、支援後はミーティングで今日の子どもの様子や振り返りを共有している。</li> </ul>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善策を振り返り、次年度の活動内容に取り入れている。</li> </ul>			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の意見や考えを取り入れられるような話し合いの機会を設けていると共に、実践可能な内容は出来る限り実践するようになっている。</li> <li>・ミーティング以外にも、その時に思ったことを他職員に都度共有している。</li> </ul>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	40%	60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の機会は少ない。</li> </ul>		今後取り入れていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に様々な研修に参加しており、実際の支援の場で活かすことができている。</li> </ul>			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表にされているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が作成し、ホームページに公開している。</li> </ul>			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(個別支援計画)を作成しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が作成し、各職員に共有している。</li> </ul>			
	13	児童発達支援計画(個別支援計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原案を作成後に、各職員の意見や見立てを取り入れて本案の作成をしている。</li> </ul>			
	14	児童発達支援計画(個別支援計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に目標を振り返る機会を設けており、一人一人が目標を意識した支援が行えるようになっている。</li> <li>・モニタリング会議前に共有したり、個人記録でそれぞれ確認している。</li> </ul>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ不十分な部分がある。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員に周知し、現場で活かせるようにしていきたい。</li> </ul>	
	16	児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援も今後頭に入れて行なっていきたい。</li> </ul>			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず多職種で案を出し合い、様々な視点を取り入れた活動内容を意識している。</li> <li>・支援前に個別内容の共有をしており、他職種の視点から助言をもらっている。</li> </ul>			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域をもとに、毎月新しいプログラムを取り入れている。</li> <li>・利用回数が多い児童がいると、活動がマンネリ化しやすい部分もあると思う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>活動に関しては、続けていく部分は見極めて続けていきたい。一方、本当に必要な支援は何かをもう一度振り返り、支援を行なっていきたい。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画(個別支援計画)を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や発達段階に合わせて、支援計画の作成と支援の実施を行なっている。</li> <li>・朝の会、帰りの会のほかに読み聞かせなどの活動をしている。</li> </ul>			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・職員の動きやお子さんの状態の確認等、細かく打ち合わせを行なっている。 ・ミーティングの時間で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・その日のお子さんの状態や職員がどのような支援を行なったか、次に活かせることは何かなどの共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・記録とともに特委事項があれば職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的に共有している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・基本的に児発管が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・定期的なモニタリングのほかに、必要時に連携をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	・各機関と連携をとっているが、相互理解には時間を要することがある。	・積極的な情報発信、情報の収集を心掛け、より手厚い支援へとつなげていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・必要時に連携をとっている。	
	28	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	100%	0%	・必要時に連携をとっている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	80%	20%	・園との交流はないが、屋外活動をする際に地域のお子さんと接する機会がある。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎に来ていただく保護者の方と、必ずその日の共有をしている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・研修等の機会は設けられていない。	・保護者の方向けの研修も要望に応じて検討していきたい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に説明している。	
	33	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・作成後に確認をしてもらい、意見をいただく機会がある。	
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%	0%	・担当者が説明し、同意を得ている。	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	日々コミュニケーションをとることを心掛け、必要時は面談という形で行なっている。	
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	60%	40%	・茶話会を開催したが、来る保護者が少ないのが現状。もっと親子活動的に親しみやすい活動でもないのではないか。 ・保護者同士の交流や保護者と職員との情報交換の機会を設けている。 ・現時点ではあまりできていないので、今後もそのような機会を設けていきたい。 ・今年度は計画していたが、保護者が集まらずに継続的な計画が望ましいと考える。	・保護者の方が来所できる日を早めに提示し、継続的に行っていきたい。 ・予め、どのような形での開催が参加しやすいのかや、参加したいと思えるかなどのアンケートをとるなどして把握していく。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・必要時には面談や電話等で相談を受け、対応させていただく機会を設けている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・おたよりやLINEにて情報発信している。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		

	41	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	・現在のところ招待できておらず、今後行なっていきたい。 ・現時点では、地域の方との関りは少なく、行えていない。土曜日、祝日、長期休暇などは地域で行われるイベントなどに参加している。	
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	80%	20%	・放課後等デイサービスは行っていたものの、児童発達支援は行っていなかった。	・マニュアルは常時掲示している。訓練は、今後見直しながら実施していきたい。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	80%	20%	・定期的に行っている。 ・規定の避難訓練の他に、支援者だけで動きを確認し、実際に避難訓練を行なっている。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・ヒヤリハットは、なるべく事が起きたその日のうちに報告書に記入し、職員間で共有する。月に1回ある職員会議でも再度振り返りを行っている。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画（個別支援計画）に記載しているか。	80%	20%	・支援計画への記載や説明が不十分なことがある。	今後見直し、徹底していきたい。